

小・中学校適正規模化実施計画(案)作成にかかる意見交換会

- ・開催日時 平成 24 年 8 月 27 日(月) 午後 7 時 10 分～8 時 40 分
- ・開催場所 新治小学校 体育館
- ・出席者 保護者等 18 名

《意見集》

意見1

一番いいのは新治小学校が残ること。統合新校が志筑小学校というのが納得できない。小中一貫で千代田中の敷地に小学校を作るのが一番いい。人数的にも下稲吉小学校は偏っているので、学区再編も含めてやった方がいい。人数的にもそれで大分改善されると思う。

質問1

志筑小学校のグラウンドはかなり狭く、雨が降るとぐちゃぐちゃになると聞いている。それから駐車場もないと聞く。そういった部分の整備はしないのか？

回答1

グラウンドについては、改良工事によって改善されていると思っています。駐車場については、現在整備されたエリア以外に整備する必要があると考えています。

意見2

駐車場整備の予算が計画に書かれていないので、あやふやに思える。千代田中学校の空き教室については、あまり有効活用されていないと聞く。統合の方法が、難しいところには手をつけずにやっているように思える。千代田中学校と下稲吉中学校については、人数が多いから手をつけられないので、小学校4校を一緒にしてしまおうとしているように思えてならない。どうにも納得できない。子どもたちの将来のことを考えるのであれば、そういったところまで手をつけていただきたいと思う。

統合は反対ではないが、将来がよくなってほしい。それが地域の活性化にもつながる。子どもが、孫が、学校が遠くていやだとならないでほしい。この学校に行けば大丈夫だという学校になってほしい。できれば千代田中学校の敷地内に作ってほしい。

意見3

千代田中学校の空き教室は有効活用されていないと聞いている。確認してほしい。

質問2

資料を見るとメリットばかり書いてあって、デメリットが書かれていない。なぜか？意見交換会であれば、全てのことを調べた上で持ってきていただきたい。

回答2

資料中に小規模校のメリット・デメリットという参考資料をつけています。これは、小規模校からみたときのメリット・デメリットです。統合をして適正規模化したときのメリット・デメリットとは違ってくるとは思います。小規模校では、資料にあるようなデメリットが整理されています。また、今回統合しようとしている規模は、適正規模ということで、決して、大規模化したりはしません。適正な規模になることのデメリットというのは、見つかりません。ただ、統合することでの課題はあるということで、資料中に学校統合の課題ということで、その解決方法と共に書いてあります。一つは、児童・生徒が新しい環境に円滑に移行できるのかという課題に対しては、事前に交流事業を積極的に行うとして書いてあります。また、遠距離通学等の安全面については、スクールバスの活用をするという対応を書いてあります。さらに、学校跡地については、地域の拠点という性格を有しているので、地元みなさんに説明をして、理解をいただいた上で利活用したいという対応でまとめてあります。統合に関する課題はありますが、規模に関しては、決して大規模ではないので、適正な規模にデメリットというのは見当たらない状況です。

質問3

適正だからデメリットがないというのは、おかしいと思う。事前に交流事業をただけで円滑に移行できるのか？見当たらないという答えはおかしい。いろいろな児童がいる。適正でも色々な子がいるので、円滑に移行できるとは思わないし、問題になっているいじめにしても、もしかしたらあるかもしれない。事前に対応を用意しておいて、あったときに対応していくものだと思う。見当たらないというのはないと思う。

回答3

いじめについては、単学級の場合、人間関係が固定化してしまうという側面もあります。これをクラス替えをしたりすることで、人間関係の構築をやり直すことができる機会があるということも一般的には言われているところです。お話のように、移行が円滑にできないで、結果的にいじめられてしまうのではないかと、そういうようなところの対応は、今のところ準備しておりませんので、今後、勉強させていただきます。

質問4

校舎増築の説明の中で、特別支援学級については見込まないで試算をしていたが、それは手をつけないだけではないか？難しい部分であると思うが、市が全体で障害にもう少し力を入れて取り組んでいけば、苦しまないで済む子達もたくさんいる。そこも踏まえて統合を考えてほしい。

回答4

特別支援学級については、必要な方がいらっしゃれば、それだけの取り組みはしますし、必要な教室を用意するつもりであります。説明の中で言ったのは、最少の教室数を増築した場合という意味です。

意見4

私は、小中学校適正規模化には賛成である。また、子どもたちのためにも必要と考える。しかし、今回の千代田地区の実施計画案では、適正規模化は達成できない計画案となっている。なぜなら、下

稲吉小 24 クラス、下稲吉中 20 クラス、下稲吉東小 18 クラス、千代田中 6 クラスが計画から除外されているからである。資料を見ると、12 学級から 18 学級が適正規模の目安とされている。これを見ると、適合しているのは下稲吉東小学校だけである。稲吉地区の 2 校は、平成 30 年までみても適合しない。新たな学校の建設案も小学校だけ該当し、下稲吉中は無理である。また、千代田中は 6 から 7 学級のままで原案のまま小学校の統廃合をしても平成 36 年度には 41 人の入学しかない。今回の統廃合の手法では、目的は果たせない。教育の機会均等も損なわれる。稲吉地域の学校は、茨城県下でも特別問題が多いところである。特別対象になっており、子どもたちにとっては大変不幸なことである。一刻も早く、躊躇せず、先送りせず手を打つ必要がある。それが、この適正規模化をしようとしていることから除外されていることは理解できない。わが市において、いや、茨城県において教育の最重要課題の稲吉教育問題を解決する良い機会のひとつとし、適正規模化するべきではないかと考える。統廃合方式では、適正規模を超えている稲吉地区に、近いうちに学校を 2 校新設するしかないと考ええる。しかしこれは、財政面や用地の確保等を見ても困難が多すぎる。千代田中学校においては方策はなく、資料のように平成 30 年に今と変わらず 6 クラス、不適正規模のまま置き去りである。私はそこで、適正規模を超えている稲吉地区の学区割の見直し、特に下稲吉小、下稲吉中の生徒を新治小、志筑小、上佐谷小、七会小、千代田中学校へ新入生から徐々に入学させる一部分離統合方式を提案する。下稲吉東小も場合により対象とする。課題としては、稲吉地区からの反対。耐震工事の必要性。スクールバスの運行。受入地区からの反対。行政の反対。利点として、適正規模化の市内全域完全目標達成。稲吉地区に 2 校新設しないので、経費の大幅削減。稲吉地区学校の荒廃問題の抑止。教育の向上。これは全国学力テストを基準としている。千代田中の適正規模化達成。歴史と伝統のある学校の存続。地域住民の精神的安定と向上。削減されたお金と関連交付金で通学路や施設整備。教育効果の向上をはかることが大きな目的である。そのための適正規模化でなければならないと考える。思考を柔軟にして対応し、稲吉地区の学校の問題を先送りせず、千代田中も置き去りにせず、千代田地区を教育的、精神的乱れが生じないよう、家庭が不安定化しないよう、きわめて悪い社会にならないよう導いてもらいたい。教育の機会均等をはかることは、憲法や基本法にも明記されている。今回の統廃合方式では、得られることより失うことが多く、目的も果たせない。何をやるのも大変だが、どうせやらなくてはならないならいい仕事をして、子に孫に、いい仕事じいちゃん、ばあちゃんはしてきたから今があんだどと言えようにしようと述べて意見とする。

質問5

資料中、学校統合の全体計画の中で、各検討委員会にPTAが含まれているが、PTAは入れ替わりがあるので、その都度入れ替わる形になるのか？

回答5

まだ詳細は決めておりません。ただし、検討事項の中の通学路やスクールバスの運行については、その地区ごとに事情をよく知る委員さんの推薦が必要になると考えます。それが必ずしも、その時々その役員の体制とかPTAの会員に一致しているのかということ、そうでないことも考えられます。ケースバイケースになるとは思いますが、そういう時は、年に応じ委員さんが入れ替わることはあり得ると思います。

質問6

統合が28年度となると、現在の学年でいうと1年生か2年生しか対象にならない。そうすると、保育所とかに対する説明は行わないのか？

回答6

具体的に、保育所の保護者だけを対象とした説明会を行う予定はありませんが、まだ、この計画案自体は決定事項ではありませんので、案を作る段階で、まず保護者のみなさんと地域の実情を理解している区長さんにお声掛けをさせていただいて、計画案を作るためにお話を聞いている状態です。この意見交換会を通して、修正が可能なところは反映をさせて、その後、今度学校に入るお子さんを持った保護者等も含め、地域ごとに説明会を実施したいと考えています。そのときには、保育所等を通して案内するようなことも考えていきたいと思っています。この次の段階で、全体を対象とした説明会を考えています。

質問7

実際に統合校に入ることもというのは、今の保育所の保護者がメインだと思うので、決まってからではなく早い段階で説明が必要だと思う。

回答7

その保護者の方々にも出席いただき、説明会でよく説明させていただきたいと思います。

質問8

アンケートをとった際、新治児童館はどうなるのかという質問が多かった。どのように考えているか？

回答8

具体的には決まっていますが、放課後児童クラブも統合後に、どのように運営するのかということを担当課と事務レベルで検討はしています。当然、どのような開設方法が良いのか、意向を伺う機会は出てくると思いますので、そういった中で新治児童館の利用方法等も含めたご相談になりますので、担当課とも十分に調整したいと考えます。

質問9

新治児童館はまだできたばかりで、なくすのはもったいないと思うので、利用方法を早めに説明していただきたいと思う。気の早い話だが、新治小学校が廃校になった場合に、どういった目的で使われるのかという、大体の青写真はできているのか？

回答9

個別の学校ごとの具体的な案は持ち合わせていません。これからという状態です。何分にも学校も相当数ありますので。ただ、全国的に廃校の再利用の流れはありますので、国の方でも廃校プロジェクトというもので、どのような施設・規模で、どのような利用ができるのかというデータベースを作って、いろいろな事業者へ情報提供していくというシステムがありますので、そういうものなども活用して、利用を呼びかけていくという方法をとることになると思います。

意見5

教育以前の問題で、市に持ち帰ってほしいのだが、下稲吉ばかりが人口が増えている。他の地区は人口が減っているのに。なぜかという、向こうはどんどん家が建っている。どんどん宅地になっていく。新治の地区は田んぼにも何もなっていない、遊んでいる田んぼ、何もできない土地、そういう土地がすごく多くなっていると思う。新治の地区に家を建てようと思っても全然建てられない、周りの人もめてしまったり、土地のことがうまく進まないということで、だったら下稲吉地区の方が家を建てるのが簡単だということであちには家を建てているという話を何人にも聞いている。このままいったら、新治地区は孫の時代には、また小学校の人数は少なくなる。どうなるのかと思う。だったら、下稲吉地区じゃなくて、新治地区にもどんどん若い人が来られるように、市で考えたらどうなのかと思う。

質問10

学区の再編については、検討の対象になっていないのか？

回答10

計画案の中で、千代田中学校と下稲吉中学校が統合した場合、適正な規模を上回ってしまうことから、学区の見直しを含めて継続的に協議していくことと書かせていただいております、これから進めていく中でも地域のみなさんの考えとか、いろいろ詰めていくところも必要になると思いますので、様々な方法で情報を得ていかなければならないと思っています。

質問11

検討するということか？

回答11

千代田中学校については、下稲吉中学校と比較すると環境がかなり違いますので、そこを改善するには学区の見直しが当然必要であると計画案にも書いてありますので、みなさまの意向等を聴取しながら、検討していきたいと思っています。

質問12

学区の見直しをするならば、今の児童・生徒数推計は全くあてにならないものになるので、そこら辺のところをはっきりしてからでないと。

回答12

既存の学校区において、学校を中心とした地域のまとまりというものがあると思いますので、その地域のつながりを分散したくないという考えから学校区を単位とした区割りでの統合を検討しました。これまでの千代田中学区という志筑・新治・七会・上佐谷の4校で連携を保ってきたと考え、今の流れとなっています。

意見6

他の学校で、次回の説明会は10月頃を考えているという答えがあったが、次回の説明会では民生・

児童委員の方や、青少年相談員、子ども会育成会連合会、交通安全指導員など、いつも子どもたちを影でサポートしてくれている方にも直接案内していただけたらと思う。

意見7

過去にたくさんの時間をかけて、この案を作られたのだらうけれども、だからこそ、子どもたちの良い環境に導くために柔軟な対応をしていただけたらと思う。